後援：栃木市教育委員会

令和6年 日本文学フィールド公開講座
「大河ドラマを読む」
國學院大學栃木短期大学

8.21（水） 岩井千華
「大河ドラマと図書館の関係―市民の楽しみの入り口は図書館にあり!?」

8.22（木） 菱沼一寛
「鎌倉幕府草創の舞台裏―栄えるもの・滅びるもの―」

8.23（金） 森岡宏行
「情報社会における大河ドラマの最新事情―楽しさの秘密は「拡張」にあり―」

8.28（水） 岩渕真未
「史実とそれを取り巻く物語」

8.29（木） 津島昭宏
「王朝ラブロマンスの描かれ方―大河ドラマ「光る君へ」をめぐって―」

8.30（金） 伊藤慎吾
「信長、桶狭間の合戦前夜の舞」

当日会場受付可能です。お申し込みはこちらから

時間：各回11:00～12:30（開場 10:30～）
会場：國學院大學栃木学園教育センター　４０４教室
受講料：3,000円（学生1,000円・高校生以下無料）
募集期間：7月16日（火）～8月9日（金）

日本文学フィールドInstagram

8.21（水）岩井千華「大河ドラマと図書館の関係―市民の楽しみの入り口は図書館にあり!?」

身近にある公立図書館では、大河ドラマに合わせて、図書館内に関連した本の展示を行うことがあります。司書が蔵書から選んで展示することで、市民の関心を高め、読書の契機としたり、または、展示が集合知にもなり、その人物像と彼らが生きた時代を浮き彫りにすることもできます。私たち市民は大河ドラマ関係図書と出会いを通してどんな楽しみや学びを得るのか、みなさんと一緒に考えたいと思います。

8.22（木）菱沼一寛「鎌倉幕府草創の舞台裏―栄えるもの・滅びるもの―」

戦乱の時代、強い者が生き残るのではなく、生き残った者が強者です。必然と偶然が織りなす繁栄と滅亡について、幕府草創期を舞台としてお話ししてみたいと思います。 なぜ北条氏が天下を取ったのか考えてみましょう。

8.23（金）森岡宏行「情報社会における大河ドラマの最新事情―楽しさの秘密は「拡張」にあり―」

情報社会になってテレビドラマも楽しみ方が色々広がっていることをご存じですか？この講座では「拡張」をキーワードに、インターネットを中心とした大河ドラマの最新の楽しみ方を一緒に体験してみましょう！

8.28（水）岩渕真未「史実とそれを取り巻く物語」

史実に基づく歴史小説と歴史的背景を題材にしながら物語の創作に重点を置く時代小説は曖昧ですが区別されています。この〈史実と創作の区別〉の意識が読者や視聴者の反応として鋭敏に現れるものの一つに〈大河ドラマ〉があげられますが、それは何故でしょうか。今回は史実とそれを取り巻く物語について〈大河ドラマ〉を中心に据えて考えてみます。

8.29（木）津島昭宏「王朝ラブロマンスの描かれ方―大河ドラマ「光る君へ」をめぐって―」

平安時代の貴公子と姫君とが繰り広げる恋物語。それが映像化やマンガ化される際には、しばしば紋切り型のイメージで描かれてきました。一方で、話題の「光る君へ」では新たな試みも見られます。王朝ラブロマンスの描かれ方、その過去と現在を考えるつもりです。

8.30（金）伊藤慎吾「信長、桶狭間の合戦前夜の舞」

「人間五十年、下天のうちをくらぶれば、夢まぼろしのごとくなり」 これは織田信長が桶狭間の合戦前夜に舞った舞のひとふしと言われます。史実かどうかはともかく、大河ドラマをはじめ、信長の登場するドラマ、小説、漫画の多くは、お約束のようにこの場面を描きます。それだけ見どころとして欠かせないものとされてきたのでしょう。では、このお馴染みの場面はどのように描かれてきたのでしょうか。さまざまな作品を紹介しつつ、考えていきます。

KOKUGAKUIN TOCHIGI JUNIOR COLLEGE